

<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社 在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ふくふく能見台
所在地	(〒236-0053) 横浜市金沢区能見台通 8-8 能見台駅前ビル 3F		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ 住み慣れた地域で最後までその人らしい生活を送ることができるよう支援して参ります。
- ・ ご利用者様のニーズに対し、24時間365日、臨機応変・迅速・柔軟なサービスで在宅生活の支援を行います。
- ・ 医療ニーズのある方はもちろん、様々な状態・病状の方たちの在宅療養の支援とともに、介護者・ご家族を含めた総合的な支援を行います。
- ・ 事業所内の各職種間の連携はもちろん、ご家族・主治医・医療機関・地域包括支援センター・地域の自治会・民生委員・各事業所の方々・町内の方々との連携を密に行い、信頼していただける地域密着型サービスを目指し、地域包括ケアの一翼を担ってまいります。
- ・ 住み慣れた自宅・地域での最後を本人・ご家族が希望された場合は、ふくふくと主治医との連携で心のこもったお看取りを致します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 11 月 12 日	従業者等自己評価 実施人数	( 15 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 12 月 18 日	出席人数 (合計)	( 8 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 0 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 0 人) <input type="checkbox"/> その他 ( 0 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>① 事業所理念を把握し徹底したサービス提供を行う。</p> <p>② 情報共有・情報提供がさらに円滑に行える環境づくりの継続</p> <p>③ ヒヤリハットは集計をとり、分析・検討し事故の防止対策に活かす。</p> <p>④ 各事業所の環境に適した具体的な対策の検討を行う。あらゆる災害を想定した訓練を継続的に行っていく。ご家族にも明示できるよう具体策を重要事項に追記する。</p>	<p>① 毎朝のミーティングで担当表に記載されている理念に目を通すことによって理念を理解している。</p> <p>② ミーティングで情報の共有を行った</p> <p>③ 定期的にヒヤリハット検討会議を開催し事故防止に努めた。</p> <p>④ 年二回の防災避難訓練を実施し災害に応じた訓練及びマニュアルの作成をして災害に備えるようにした。</p>	<p>① 職員一人一人が理念を理解したうえで、サービス提供を意識するようになった。</p> <p>② 情報が停滞しないよう、迅速に報告が出来るようになった。職員の意識が向上している。</p> <p>③ 些細なヒヤリハットも多くあげられる状況になった。</p> <p>④ 職員一人一人の防災意識が高まり事業所独自のマニュアルの定期的な見直しも行っていくことになった。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>① 一人ひとりの必要性やご希望を考慮した、多様なサービスの提供を継続。</p> <p>② 専門的で質の高いサービスの提供ができますよう、各種研修等積極的な参加を行っていく。</p> <p>③ 看護小規模多機能型サービスの地域における役割について、社会研修を通して職員間でも熟知できるよう継続的に取り組んでいく。</p>	<p>① 通い・訪問・泊りサービス提供をご利用者の状態やご家族の状況に応じて柔軟に対応することが出来るよう相談しやすい環境整備を行った。</p> <p>② 社内研修・喀痰吸引研修の参加により専門職としての知識の向上につなげた。</p> <p>③ 専門的知識を得られるよう看護職を中心としたケアに取り組んでいる。</p>	<p>① 利用者様。ご家族様との信頼関係を維持向上するよう常に務めるように意識するようにしている。</p> <p>② 喀痰吸引研修終了者が増え、専門性のあるサービス提供ができる環境が整っている。</p> <p>③ 看護職と介護職が連携し統一したケアの提供ができるようにしている。</p>

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 看護小規模多機能型サービスの地域の中での関りとして、多職種連携の充実を行う。	① 定期的に医療機関で行われる研修に参加し同じ地域でサービス提供されている事業所と情報の交換としている。	① ご利用者様が安心してサービスを受けられるよう多職種連携の体制づくりが出来ている。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	① 専門的なサービスが必要な方にも安心してご利用いただけるよう、各関係機関とも継続的に連携を行っていく。 ② 社内研修や外部研修を通して、看護小規模多機能型サービスの地域における役割を認識し、実践していく。	① 医療機関、地域包括支援センター等と必要に応じ連携をとっている。 ② 積極的に外部研修に参加し、その得た内容を社内研修に役立てている。	① 町づくりへの貢献には至っていないこともあるため今後の課題となる。 ② 社内研修や、職場のミーティングで伝達することで、研修内容を共有し現場に活かせるように努めている。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		① 環境づくりの継続。 ② 看とりケアに対する職員の意識向上を図る。	① ご家族に寄り添い、傾聴してより良い環境づくりを徹している。 ② 看とりの事例が増えており事業所としての役割を理解して実践している	① 事業所一体となり利用者・家族に安心して利用して頂ける環境づくりができています。 ② 看とりに対する意識が向上しており、職員一人ひとりが役割を理解して職務を全うしている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	① 事業所理念を把握し徹底したサービスの提供を行う。 ② 情報共有・情報提供がさらに円滑に行える環境づくりの継続。 ③ 職員の休憩時間の確保の徹底を継続的に検討していく。 ④ 各事業所の環境に適した具体的な対策の検討を行う。 あらゆる災害を想定した訓練を継続的に行っていく。	① 事業理念を把握し徹底したサービスの提供を行う。 ② 情報共有・情報提供がさらに円滑に行える環境づくりの継続。 ③ 看護師、管理者、職員間で状況把握を行い休憩時間の確保の継続を行い質の高いサービス提供に反映させる。 ④ 防災委員を通して事業所の特性に応じた訓練が行えるよう意見を反映していく。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	① 一人ひとりの必要性やご希望を考慮した、多様なサービスの提供を継続。 ② これからも専門的で質の高いサービスの提供が出来ますよう、各種研修等積極的な参加を行っていく。 ③ 看護小規模多機能型サービスの地域における役割について、社内研修を通して職員間でも熟知できるよう継続的に取り組んでいく。	① ご利用者様の個別性に対応した柔軟性のあるサービス提供の継続。 ② 専門的で質の高いサービス提供の実施 ③ 内部研修、外部研修の積極的な参加と伝達を行う。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 看護小規模多機能型サービスの地域の中での関わりとして、多職種連携の充実を行う。	① 医療機関、地域ケアプラザ、各種事業所との顔の見える関係の構築。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	① 専門的なサービスが必要な方にも安心してご利用いただけるよう、各関係機関とも継続的に連携を行っていく。 ② 社内研修や外部研修を通して、看護小規模多機能型サービスの地域における役割を認識し、実践していく。	① 専門的なサービスが必要な方が安心して利用できるように連携を継続していく。 ② 社内研修や、外部研修への参加を奨励し、一人でも多くの方が参加し、自己の役割を認識し、実践できるように努める。
III. 結果評価			

(評価項目 42～44)		
--------------	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	9	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念の明確化①～⑤の取り組みはできている。</li> <li>・振り返りを行いながら理念に基づいた対応がなされています。</li> <li>・専門的な事はよくわかりませんが自己評価が「とても満足している様と伺えます」たぶん利用者様が日々の様子をよくケアしている様子が伺えます。</li> </ul>	<p>利用者が安心して過ごすことができるよう日頃から生活機能の維持・回復を目指し意欲の出る居心地の良い場所づくりを理念に挙げている。</p>
2	○ サービスの特徴および事業	8	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念の確認ができておりス</li> </ul>	<p>理念を廊下、事務所に掲げる事に</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・理念の実現化に向け日々取り組んでいる。 ・個別性を持ち柔軟にサービスを組み合わせ笑顔を大切にしている。 ・新人研修を通じてサービスの特徴、理念についてしっかりと説明を受けている。 ・理念が明文化されている。 ・利用者様に常に声掛けを行い居心地の良い場所づくりをしている。 ・日々笑顔で楽しい時間を過ごしていただけるように努めている。 ・事務所に掲げたり、研修時に確認周知している。 ・新人にはオリエンテーションを行っている。				タッフ対応も明るく過ごしやすい環境がうかがえる。 ・常時見える場所に設置され、意識しやすい環境です。	より職員全員が意識・理解し実践できるようにしている。
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	5	4	6	0	・具体的な評価、スタッフ育成年間目標については今後、個別目標を立てて取り組まれることが望まれます。 ・定期的な研修によりスキルアップを目指しています。振り返り、自己評価を期待します。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・社内研修、外部研修の実施をしている。 ・ミーティングなどで話し合っている。 ・職員主体の研修委員が年間計画を立て計画に沿った育成がされている。 ・定期的な社内研修がある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭での説明はあったが育成計画という具体的なものはなかった。</li> <li>・計画は立てられているがなかなか参加ができていない。</li> <li>・計画は立てられているが計画書として目にはしていない。</li> <li>・各職員が社内外の研修参加でスキルアップを行っている。</li> </ul>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	9	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修報告はありますが、内部研修については多少規模と連携をとられているようです。</li> <li>・医療に関する研修の取り組みが効果を上げている様子が伺えます。</li> </ul>	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専	9	5	1	0	・良いケアに向けて今後もコ	✓ 「情報を共有する機会」の充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 朝のミーティング時、不在者は連絡ノートを確認し共有するようにしている。 ・ミーティングを活用し個別カンファレンスができている。 ・情報共有は日常的になっている。 ・介護職員、看護職員、ケアマネのコミュニケーションが取りやすい環境である。 ・毎朝のカンファレンスを記録に残し新しい情報や細かな情報を全職員が情報共有できている。 ・ケアマネからの情報共有はされている。 ・記録はいつでも確認できる状況にある。 ・ミーティングでは課題の抽出も行なわれ迅速な対応ができるている。				コミュニケーションを密に とっていただけたらと思いま す。 ・看護小規模多機能の機能が 活かされ、利用者の安心につ ながっています。 ・評価から連絡を細かくして いる事が理解できます。	を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	9	6	0	0	・地域の防災訓練などの情報共有があり今後積極的な参加を望まれている。 ・事業所内での連携がなされていきます。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・会議での情報は職員に伝達され改善点はすぐに取り組んでいる。 ・介護職は内容をほとんど理解していな					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングで報告がある。</li> <li>・会議の助言に対してできるだけ迅速に対応している。</li> <li>・会議の内容を管理者が記録ノートに記載し周知している。</li> <li>・運営推進会議で出された内容は報告・検討されサービスに反映されている。</li> <li>・管理者、ケアマネより報告ありより良いサービス提供に繋がるよう心掛けている。</li> </ul>					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	5	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員もしっかりと休憩時間を確保し働きやすい環境で長期に渡り働けるよう取り組まれているようです。</li> <li>・「あまりできていない」という評価の具体的内容の確認、把握はどのようになっておいでですか。</li> <li>・利用者様の為にも職員の方々の働きやすい環境を作ってほしいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</li> </ul>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が相談しやすい環境を日頃より作っている。</li> <li>・労働時間の配慮やお互い休日を取りやすい様、職員間での協力体制が整っている。</li> <li>・休憩時間の確保が難しい時がある。</li> <li>・休憩を順番でとれるようにその時の状況に応じて声を掛け合っている。</li> <li>・管理者が勤務日、時間など個別の事情の配慮がなされている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としての環境は大変整っているがスタッフ専用の場所がなく昼食後の休憩が屋外になることがある。</li> </ul>					
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングでの情報交換を今後も密にとり連携できればと思います。</li> <li>共有ノートの漏れについての対策はどのようになっていますか。</li> <li>連携がなされており利用者のケアに反映されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職から介護職への情報漏れが多くみられるようになってきた。</li> <li>・ミーティング共有ノートの漏れが多い。</li> <li>・ケアマネが内部にいるため得られた情報は速やかに職員に伝達され共有されている。</li> <li>・毎朝のミーティングで利用者の情報を共有できるようにしている。</li> <li>・常に情報共有があるのが看多機なので、都度管理者、ケアマネ、サ責での情報共有が行われ職員に迅速に伝達ができている。</li> <li>・重要かつ迅速な対応が求められる時は管理者が適宜職員に周知する。</li> <li>・利用者の状況にかかわる変化ケアの内</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>容の変更については朝のケアカンファレンスで情報共有システムしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭での伝達やファイルなどでいつでも情報共有できるよう努めている。</li> <li>・ミーティングで気が付いたことを報告している。</li> <li>・ミーティングノートを確認したら記名するよう伝達漏れがないよう工夫されている。</li> </ul>					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告については運営推進会議で報告され対策についても話し合われて改善策をとっている。</li> <li>・安全管理の予後予測が行われており、随時状況に応じて対応が行われています。</li> </ul>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット、事故報告などについて当日や翌朝のミーティングで情報共有を行い対策について話し合いをしている。</li> <li>・年に2回の防災訓練、備品の整備、避難経路の確認をしている。</li> <li>・必ず管理者に一報を入れ確認すること</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>が徹底されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予測できるような内容があれば事前に情報共有をしている。</li> <li>・個人情報取り扱いを含め社内研修を実施し対策が講じられている。</li> <li>・できている面とできていない面がある。</li> <li>・介護の高い方が介護ベットを使用できないことが多い。</li> <li>・センサーマットは必要に応じてレンタルしている。</li> </ul>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	5	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風で思いがけない事態が今回起こってしまった様子であるが防災意識が高まり今後の改善策に期待する。</li> <li>・台風の経験を活かし前向き・具体的に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災委員会などで災害時に備えた備品や水などの準備をおこなっている。</li> <li>・非常時の対応がマニュアルとしてあり、また非常時のサポートできる職員の連絡網がある。</li> <li>・防災訓練などを通して話し合っている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡先リストの作成をしている。</li> <li>・現在取り組み中であるが現在も火災報知器（通報システム）が故障している。早急に対応していただき不安、不備のないようにして欲しいです。</li> <li>・マニュアルの更新なども今回の災害にてしっかりと行われている。</li> <li>・防火検査を毎日行いリーダーがチェックしている。</li> <li>・台風 15、19 号の経験を活かし改善することができた。</li> </ul>					
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセ	10	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な対応、24 時間支援が必要な利用者にも適切に対応できている。</li> <li>夕食（弁当）などで対応行え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様の体調の変化に対して迅速</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	メントが行われている	<p>に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者だけでなく家族の生活状況もアセスメントできている。</li> <li>・適切なアセスメントにより家族の介護力に応じて訪問や夕食の対応などを行っている。</li> <li>・介護者の体調や都合を含めた柔軟な対応にしている。</li> <li>・緊急時など看護、介護が24時間対応の訪問を行っている。</li> <li>・介護力の低い家庭には訪問し指導を行っている。</li> <li>・ケアマネなど常に連絡が取れるようにしている。</li> <li>・最後まで変化するご利用者様を理解するための継続的なアセスメントを日々の連絡の中で行い共有している。</li> </ul>				<p>ている利用者もいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントが十分に行われ活用されています。</li> </ul>	<p>規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	14	5	1	0	<p>・介護、看護それぞれの立場からアセスメントし連携を今後でもできたらと思います。</p> <p>・多職種の視点が活かされたケアとなっています。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種間での情報共有と意見交換が行われている。</li> <li>・看護職、介護職の視点からもアセスメントできている。</li> </ul>					共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	10	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族、利用者の意向を反映しご家族と情報共有できている。</li> <li>・ご本人、ご家族の希望及び専門職のアドバイスを活かして引き続きプラン作成をお願いします。</li> </ul>	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
14	○ 利用者の有する能力を最大	8	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も中長期的な計画のも</li> </ul>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かし</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い			
	限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・毎朝の体操など日常生活の中で ADL 低下予防を意識した計画が立てられている。 ・心身、生活機能維持回復向上を目指した計画書を作成している。 ・残存能力を活かし ADL の低下を防いでいる。 ・日々のケアの中で個人の能力に着目し自立支援を基本としたケアに努めている。 ・				と ADL を維持していくことが出来るよう個別的な取り組みをお願いします。	た、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます	
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成								
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	8	6	1	0	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護、ケアマネより主治医へ報告、相談し事前支持をもらうなどの対応をしている。 ・状況変化の予測、リスク管理は医療の専門的な視点より行い計画の見直しをしている。 ・事が後手に回らないよう先読みしてアンテナを張っている。	・医療行為、ニーズの高い利用者が多いためこまめな状況変化観察を今後もお願いしたい。 ・サービス自体のリスクマネジメントをお願いします。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化の予測をし早めの対応ができている。</li> <li>・ミーティングでの話し合いを通じて事故の予防を行っている。</li> </ul>					
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	8	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分行われていると史料します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングを通し状況変化の早期把握ができ計画への反映がなされている。</li> <li>・日々の観察によって、状況状態の変化に気づき早期発見に努めている。発見時にはすぐに報告を行う。</li> <li>・常に利用者家族と連絡を取り状況に応じ対応している。</li> <li>・本人、家族以外の多職種からのアセスメントを常時行いやすい状況である。</li> </ul>					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に	10	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通い、泊りを介護力に応じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適時適切な訪問で利用者や家族の状況変化が把握できている。</li> <li>・利用者、家族の介護力に応じて訪問、通い、泊りの利用のサービス提供がされている。</li> <li>・ご利用者、ご家族とのかかわりをここに見極めて状況に合わせた対応ができている。</li> <li>・その方の状況、都合に合わせてケアマネが調整している。</li> <li>・定期的かつ状況変化がある際の訪問が迅速に行われ、継続的に把握できている。</li> <li>・送迎時のスタッフが家族に声掛け、状況報告または自宅での様子の情報収集を行いケアマネからこまめな連絡をして継続的な状況把握をしている。</li> </ul>				<p>適切に利用できるようご家族との連携もとっていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的なケアに取り組んでいます。</li> </ul>	<p>宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	11	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・往診医との連携もとれているように伺えます。</li> <li>・多職種連携が常時なされています。</li> </ul>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や訪問リハなど、情報が共有されている。</li> <li>・状況に変化があった際はすぐに主治医</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>に連絡し共有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から主治医や関係機関と情報共有が行われている。</li> <li>・主治医との連携、リハビリ、マッサージの検討など</li> <li>・主治医からの意見や家族からの意見を毎朝のミーティングで共有している。</li> <li>・主治医など密な連絡を取りあい情報の共有化に努めている。</li> </ul>					
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	8	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの役割を明確化し質の高いサービスが提供されるよう望みます。</li> <li>・互いの職種の視点を尊重することを大切にしていきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の引継ぎや医療行為など十分でない。</li> <li>・専門的な役割分担だけでなく臨機応変に状況に応じて対処できている。</li> <li>・医療的なことを学ぶことができる。</li> <li>・声を掛け合い連携をとっている。</li> <li>・専門性が活かされ効率的に行われている。</li> <li>・介護と看護と組んでケアにより柔軟なサービス対応に繋がっている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こうしたらいいのでは」というアドバイスが看護からあると安心して実行できる。</li> <li>・それぞれの役割はできており、それ以外でも協力しながら行っている。</li> <li>・医療ニーズの高い利用者に対しては看護の指導、指示を仰ぎながらケアを実践している。</li> </ul>					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	9	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報共有及び能率化（負担軽減）をお願いします。</li> </ul>	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、	8	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職が看護に相談しやすい</li> </ul>	✓ 「看護職の専門性を活かした、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングなどで情報提供や提案が行われている。</li> <li>・服薬、排便コントロールの情報共有がされている。</li> <li>・専門的な説明や助言が日常の中で行われている。</li> <li>・わからない事は、必ず聞いてアドバイスをもらい聞きやすい環境である。</li> <li>・予後予測に関しては常に看護師より指示があり職員は不安なく従事できている。</li> </ul>				<p>く情報共有できるよう日々のミーティングで行っている様子が伺えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前述同様</li> </ul>	<p>「看護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	9	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族や利用者との信頼関係を維持されています。</li> <li>・引き続きお願いします。</li> </ul>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時、又は状況に応じてその都度丁寧な説明がなされ理解を得ている。</li> <li>・管理者、ケアマネにより良いサービス提供ができるような提案をしている。</li> <li>・聞きやすい雰囲気、環境になるよう努めている。</li> <li>・信頼関係が築かれている。</li> <li>・理解していただけるまで何度も説明さ</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		れている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	10	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族とケアマネのニーズが必ずしも一致しないことがあるが理解しあえるよう今後も対応を努力されればと思います。</li> <li>・引き続きお願いします。</li> </ul>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者やケアマネが利用者、家族の理解を十分に得られるよう寄り添ったわかりやすい説明をしている。</li> <li>・理解不足があるケースではケアマネが時間をかけて個別で説明をしている。</li> </ul>					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	10	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職による利用者も訪問ケア方法説明については安心感があります。</li> <li>・引き続きお願いします。</li> </ul>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職による訪問により家族が行うケアの方法等についてわかりやすく説明、理解を得ている。</li> <li>・訪問をして管理者、ケアマネが行っている。</li> <li>・看護職が訪問し家族などへ指導、助言をしている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・理解していただけるまで看護、介護が 定期あるいは随時訪問指導している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	10	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期においてはご家族の個々のケアも大切であるため、今後も暖かく寄り添えるサービス提供をお願いします。</li> <li>・「認知症の方の意思決定支援ガイドブック」（厚生労働省）などもご参考ください。</li> </ul>	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<b>【具体的な状況・取組内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における対応について利用者、家族の希望を把握しサービスを行っている。</li> <li>・利用者、家族の意向を考慮したサービス提供をしている。</li> <li>・モニタリングを行いサービスに反映させている。</li> <li>・ケアマネが的確に迅速に対応している。</li> <li>・可能な限り希望に寄り添えるよう支援している。</li> </ul>					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	11	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での対応困難など利用者が増えています。</li> <li>・今後のリスクをご家族と連携を取り予測し対応をお願いします。</li> <li>・家族に支援が必要なケースは包括にご連絡願います。</li> </ul>	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<b>【具体的な状況・取組内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化を想定した上でその対応について利用者や家族とよく相談、共有できている。</li> <li>・利用者、家族の介護力に応じた対応策が本人、家族と共有できている。</li> <li>・早め、早めの対応対策を講じ家族の不</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		安を軽減している。 ・見通しを立てた提案ができています。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	10	3	2	0	<p>・末期における説明。 グリーフケアを今後もお願いいたします。</p> <p>・利用者、家族への対応がなされています。</p> <p>・スタッフのデスカンファもしくはディグニティケアについてもご検討願います。</p>	<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	10	4	1	0	<p>・在宅への移行がスムーズに行えるようアセスメント環境整備などの支援をお願いします。</p> <p>・引き続きカンファ他の参加</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係</p>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ていただき様子を見て不安なく在宅に移れるよう配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院のケアカンファレンスに参加し情報が共有できている。</li> <li>・退院後円滑に在宅復帰が行えるよう入院中から生活への支援準備の支援を行っている。</li> </ul>				をお願いします。	る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	9	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の情報対応共有は重要なため、どのスタッフでもすぐわかるような取り組みを今後もお願いします。</li> <li>・スクランブル時の対応がなされています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可	7	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ニーズの高い利用者が多いため急変時の体制を今後もお願いいたします。</li> <li>・スクランブル時の対応がな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	能な体制が構築されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>急変時、休日の対応できてくるよう連絡先が分かるようになっている。</li> <li>主治医との連携があり、急変時に即対応ができています。</li> <li>すべての利用者に対応していない。</li> <li>業務携帯で看護・介護が対応できるよう整備されている。</li> </ul>				されています。	
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	9	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議にて情報共有や地域の課題も提案頂いている。</li> <li>定期的に開催されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	9	4	2	0	・内容報告、情報共有できているようです。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・会議の翌日に限らず、朝カンファで情報発信されている。 ・議事録は誰でも目が通せるようにしている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	4	8	3	0	・地域のイベント等への参加は少ないようですがボランティアさんによるレクリエーションは積極的に行っているようです。 ・引き続きお願いします。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアプラザで事例発表などを行い発信している。 ・地域のイベントに参加している。 ・地域行事に参加し、周知できるよう努力している。 ・年数回説明会を行っている。					
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	2	8	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者以外の対応は難しい状況のように思えますが相談はいただいている。</li> <li>現状では利用者以外の方の訪問看護は難しいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>痰吸引実地できる体制が伺えます。</li> <li>対応スタッフの充実が利用者の安心につながっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	3	7	5	0	・ASL 等利用者についても積極的に受け入れられている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	11	4	0	0	・看取り支援はできている。 独居での看取り等困難利用者対応も行えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・当事業所に該当者はいないが受け入れ体制はできている。</p>					
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・主治医との連携ができており、看取り支援ができる体制が整っていて積極的に受けてれている。</p> <p>・現在は対象者の依頼はないが、通所可能と判断できれば設備など前向きに検討していきたい。</p> <p>・依頼があれば対応している。</p> <p>・ターミナルケアに対し職員一人一人が高い意識を持っている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	8	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における役割ケアシステムの中で今後も重要なサービスと思われる。</li> <li>・エリアケア会議にご参加いただければ幸いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	8	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難ケース、重度利用者など相談しやすい環境にあり居宅からも積極的に受け入れていただいている。</li> <li>・病院や地域からの信頼を受けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象とし</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		け入れをしている。 ・ 困難ケース、重度者など問わず受け入 れている。					ている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている	5	7	2	1	・ 管理者、ケアマネより課題 や改善策提案がある。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取 組」について、その充足度を評価 します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやインフ ォーマルサービスの開発・活用等、 利用者等のみでなく地域における 課題や改善策を関係者に対して提 案していくなどの役割も期待され ます ✓ そのような取組をしたことがない 場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対	3	8	4	0	・近隣住民などインフォーマルサ	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に対する取り組みはなされているが、近隣住民に対しては実施していない。</li> <li>・家族への介護力を引き出すため、訪問し手技などを伝達している。</li> <li>・生活上での悩みなど伝えてもらえる環境を整え対応している。</li> </ul>				<p>ービスについても今後協力をお願いできるよう取り組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では家族への対応で十分ではと思います。</li> <li>・月に2回ほど紙芝居のボランティアをしています。いつも職員の方々がニコニコしている顔を見るとホッとします。</li> </ul>	<p>介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  <b>[具体的な状況・取組内容]</b> ・状態、状況に応じてサービス提供内容を変更し迅速な対応ができています。 ・常に生活、身体状況が変わる中目標達成ができています。 ・ケアマネなどが目標をミーティングで伝え達成に向けた支援の中で行っている。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られる	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	ている	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u>  <u>・主治医との連携、看護師の定期的または緊急時訪問により利用者と家族が安心して在宅生活が継続できるようにしている。</u>            ・</p>		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている            2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている            3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている            4. 利用者の1/3には満たない            5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u>            ・利用者、家族の希望を共有し、主治医、看護、介護が連携してサービスに取り組んでいる。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>